

「Modern書art入門」成績評価について

凜總會

平成23年12月1日作成

1. 講義の進め方

- 1) 授業において毎回受講者の出欠を確認します。
- 2) また、毎回授業の最後に講義内容に関する課題を出題し、受講者はその場で小レポート及び課題作品を提出する。小レポートは共通受講システムより入力する。
- 3) これらは受講者の理解度の確認と次の授業の改善のために積極的に活用する。
- 4) 受講者は、13回目の授業で卒業作品を決定し、14回目の授業で提出する。
- 5) 一定の基準を満たした受講者に対しては、その科目を修了したことを証明する受講修了証を授与する。

2. 成績評価基準

採点および成績評価は、下記に示す基準でおこなう。

- 1) 採点は、出席点50点とレポート点50点の合計100点を満点とする。
- 2) 出席点は、全講義に出席した場合を50点で満点とし、それより少ない出席日数の場合は、出席日数に応じて減点する。出席点の採点基準は下記表1のとおりとし、出席回数が7回未満の受講者は履修放棄とみなします。
- 3) レポート点は、レポートの内容を次の項目ごとに個別に評価して加点し、50点を満点とする。
 - ①講義内容の理解度
 - ②作品の完成度
 - ③特筆すべき点（特に見るべき内容があることなど）
- 4) 出席点とレポート点を合計した採点をもとに成績を評価する判定基準は下記表2の通りとし、S評価は、A評価を得た受講者のうち、特に優秀なレポートに適用する。S評価を得る者は全体の5%程度となることを目安に判定する。
- 5) 判定がS、A、B、Cの場合を合格とする。

出席回数	点数	出席回数	点数
15回	50点	10回	25点
14回	45点	9回	20点
13回	40点	8回	15点
12回	35点	7回	0点
11回	30点	6～0回	X

表 2:成績評価判定基準

判定	採点
S	Aのうち特に優れた者
A	100~80点
B	79~70点
C	69~60点
D	59点以下
X	履修放棄

3. 受講修了証の発行 上記の合格者(判定が S、A、B、Cの受講者)に対しては、凜穂会木積凜穂及び知の市場会長連名による受講修了証を発行する。